

スポーツ

川越

発行 川越市体育協会



好きこそものの上手なれ

川越市教育委員会 教育長 新井孝次



私は、中学校の保健体育の教員として長く体育・スポーツに携わってきました。人は体を動かし、汗をかき、技能の向上はもとより健康の増進、体力の向上、またスポーツを通して人との関わりから所属感・満足感などを味わいたいという欲求をもっています。しかし、最近運動に対して二極化の傾向がある事が指摘されており、将来を心配している一人です。

体育とスポーツの定義についてはここでは触れませんが、一般的にスポーツそのものを好きになることが誠に大切であることを痛感しています。

学校においても社会においても、老若男女を問わず心から身体を動かすことが好きな市民が多くなることを願っています。好きであれば忙しい時間を割いても身体を動か

すだろうし、多少辛いことがあっても継続して取り組みたいという欲求が強くなってくるでしょう。まさに「好きこそものの上手なれ」です。また様々な機会でも多くの人との出会いがあり、新たなやり甲斐・生き甲斐を発見することにもつながるでしょう。

行政側の仕事として考えると、スポーツをする機会、場所の確保、指導者の育成、組織の充実、市民のニーズにこたえられる様々な施策が求められるでしょう。また、生涯スポーツの視点からいえば、小中学校の頃から運動好きな児童生徒の育成に力を注いでいただきたいと思えます。スポーツを通して、健康で明るく、生き生きと生活する市民がますます増え、川越市の活性化、元気な川越市につながることを願っております。

結びに、健康・体力の保持増進、スポーツを通して生き甲斐・やり甲斐の発見、そして競技者の皆さんの一層の活躍を心から期待しております。

第62回 川越市民体育祭

陸上競技

日時：八月九日（日）
会場：川越運動公園陸上競技場
参加者数：七百二十名

○市民体育祭に参加して

武中千春



一般女子 100m 1位

陸上競技を始めて一年。今大会「選手宣言」「百米走」と初めての貴重な体験をさせて頂き、深く感謝いたしております。選手たちの精一杯頑張る姿、そしてそれまでに限界に挑戦してきた汗と涙の結晶に感動しました。

日々、「夢に向かって努力を続ける精神力、辛くても自分に負けない忍耐力、そして向上心」を持って娘たちと練習に励んでいます。これからも、勇気と希望を持ってチャレンジしていきたいです。

柔道

日時：八月三十日（日）
会場：川越武道館
参加者数：二百三十三名

幼稚園、小学生、中学生、一般の各部で白熱した試合が行われました。

※同じ道場の門下生（五年生）

○優勝 長濱快飛君（武蔵野小）
優勝できてとてもうれしいです。

父の薦めで小学一年生から始め、大人の選手に混じって週三回の練習を行っています。特に、教えてもらった事は繰り返し行うように注意しています。これからも、全国大会出場を目指し頑張ります。

○準優勝 藤本健太君（霞ヶ関東小）

優勝できずにメチャクチャしい。二年生の時母親に連れられて道場を訪問し始めました。日頃は長濱君と同様に週三回の練習を行っています。全国大会入賞を目指していきます。



バスケットボール（一般）

日時：九月十九日（土）
二十日（日）
会場：川越運動公園総合体育館
参加者数：五百二十八名



○参加者の声（女子）

毎年参加しています。市民がみんな協力しあって実施しています。この試合の機会には感謝しています。楽しく、ケガのないようにやりたいと思います。ふだん練習ができる施設がもっと増えるとうれしいです。

○参加者の声（男子）

今年初参加です。試合は思ったより緊張しましたが、一点差で勝って良かったです。最後まで残り四秒で相手のフリースローになってしまい、「外してくれ」と願っていましたが、次の試合も、「笑顔で」を心がけてがんばります。

ソフトテニス・レディースの部

日時：十月一日（木）
会場：川越運動公園テニスコート
参加者数：六十八名

○参加者の声（主婦A）

学生・社会人と続けていたソフトテニスでしたが、久しぶりに今年から再開し、そして久しぶりの市民体育祭でした。昔の仲間にも会えたり、楽しくプレーすることができました。疲れました、今日はゆっくり休みます。



○参加者の声（主婦B）

初めての方とペアを組み試合を行いました。私は初心者ですが、相手の方は現役時代に全日本にも出場したとのこと、ひとつひとつが勉強になりました。今まで試合で勝つことがなかったのですが、なんと準優勝してしまいました。大声で叫びたい気分です。

少林寺拳法

日時：十月四日（日）
会場：川越市農業ふれあいセンター
参加者数：二百十三名

今年も幼稚園から大人まで、白熱した試合が行われました。



少年の部が昨年より出場者を増やし、子供たちの熱気を感じる演武はたいへん気持ちのよいものでした。一般の部では、全国大会レベルの高校生たち（川越東高等学校）がすばらしい演武を披露してくれました。

最後に大会を陰で支えてくださった実行委員、大学生に感謝します。



霞ヶ関支部のみなさんです

第6回 川越市生涯スポーツフェスティバル (生涯スポーツフェスタ2009)

平成21年11月3日(祝)、川越運動公園を会場として、「第6回川越市生涯スポーツフェスティバル(愛称 生涯スポーツフェスタ2009)」が多数の参加をいただき盛大に開催することができました。全体の概要については以下のとおりです。

【目的】

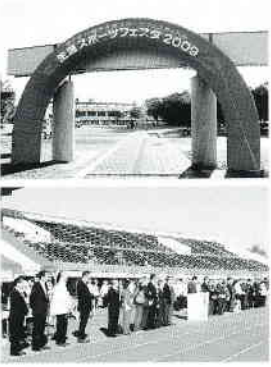
子どもから大人まで、市民の誰もが気軽にスポーツを体験し、スポーツの楽しさを味わうとともに、心身の健康増進と市民相互の交流を図る。

【主催】

川越市・川越市教育委員会・毎日新聞社

【主管】

川越市生涯スポーツフェスティバル実行委員会



【内容】

〔ウォーキングコーナー〕
伊佐沼周辺5キロメートルのコース。全員に完歩証と一般・親子家族



〔網引きコーナー〕
小・中・一般の部、合計56チームが参加。各部門1・2・3位に賞状と賞品を授与。

〔ふれあいコーナー〕
キンボール・バランスボードのニュースポーツを含め、22種類のスポーツを体験。

〔体力測定コーナー〕
小学生から79歳までの方を対象に実施。20歳以上で全種目測定者に結果表を送付。

〔ウォーキングコーナー〕
伊佐沼周辺5キロメートルのコース。全員に完歩証と一般・親子家族

ウォーキングコーナー		網引きコーナー		ふれあいコーナー
一般	560名	小学生	27チーム(281名)	1,791名
親子	355名	中学生	16チーム(174名)	体力測定コーナー
小計	915名	一般	13チーム(150名)	
		小計	56チーム(605名)	197名
合計 3,508名				

◆参加者数◆



〔アトラクション〕
山村学園高等学校バトン部による若さ溢れる華麗な演技と、東京国際大学吹奏楽部の皆様による子どもから大人まで楽しめる演奏を披露。
〔その他〕
模擬店、抽選会。

加盟団体紹介

派遣など、スポーツ事業の協力にも努めています。

野球連盟

野球連盟は今年で創立六十一年になりました。連盟登録数は年々少なくなり、審判員も年を取り、平均年齢六十六歳となりましたが、元気に頑張っています。年間試合数も二百二十試合をこなしております。年輩者多い中、これからもご支援・ご協力をお願いします。



バレーボール連盟

バレーボール連盟の組織は、競技種目の四部会(ママ、婦人、一般、ジュニア)と四委員会(総務、競技、審判、指導普及)からなっています。各部とも活発な活動をして連盟を盛り上げると共に、最近では、いそじ(五十歳以上)ことぶき(六十歳以上)の大会を行い、生涯スポーツとして楽しんでもらえるよう取り組んでいます。

バドミントン連盟は、現在加盟十二団体、二百五十余名の会員で活動しています。主な大会としては、ミックスダブルス大会、会長杯、レディース大会、市民体育祭、クラブ対抗戦の五つがあります。また、障害者対象バドミントン教室(社会福祉協議会)への講師



活躍する選手たち

■名細中学校

荻野香澄さん(3年生)

第40回全国中学校柔道大会

女子個人戦57kg以下級 優勝

全中、優勝。今日までの道のり

りは

柔道を始めたのが4歳。小学校2年生から県指定選手となる。コーチは母。現在まで指導を受けている。中一の頃から、学習と並行して練習に励みました。中二の時に関東大会一位でしたが、全国一を目指していたので練習内容を一層濃くして頑張りました。日々の努力の結果、全中優勝という形を残せてとてもうれしいです。

今後の目標は

高校入学後も続け、インターハイ優勝を目指したい。そのために今まで以上に勉強と柔道に全力を尽くしたいと思います。



沖縄県立武道館(那覇市)
平成21年8月22日～25日

■川越東高等学校

川尻鈴ノ介君(3年生・写真右)

大熊友也君(3年生・写真左)

平成21年度全国高等学校総合体育大会

ソフトテニス男子 第3位



奈良県立橿原公園明日香庭球場
平成21年8月6日～8日

大会の印象について

(川尻君) この大会に対する熱い思いが選手一人ひとりに感じられた。この中で3位入賞ができたのも、監督はじめ、両親や共に練習してきた仲間の支えがあったからだと思う。途中、自分の気持ちの弱さが出てしまい何度も負けそうな場面があったが、2人の三年間の思い出が詰まった大会であった。

ソフトテニスの魅力は

(大熊君) ペアと話し合い、お互いの欠点を補い充実感と達成感が味わえる事や、意見の相違点があってもそれを乗り越え、普段以上の力を発揮できる点だと思う。

■クレイ射撃トラップ競技

小原 誠さん

第63回国民体育大会クレイ射撃

トラップ個人 優勝

2008年度全日本選手権大会

トラップ種目 優勝

大会での印象については

コーチである父の日頃の教えを忘れずに、平常心を保って競技に臨めたと思う。

会場もよく整備されていて、気持ちよく競技ができた。

クレイ射撃競技の真髄とは

第一に精神面をしつかり鍛えること。三日にわたる日程の中で、一日25分の競技に集中力のすべてを使う。これこそが射撃競技の真髄と思う。

今後の目標は

本年度は全日本選手権大会が二位で三連覇を逃してしまっただけで、今後一層の練習を重ねて再び日本一を目指したい。



熊本県総合射撃場
平成20年9月30日～10月1日

連盟・協会 問い合わせ先一覧

種目	連絡責任者	電話
野球	江田環	
卓球	牧野保代	
ソフトテニス	根岸督好	
バレーボール	山崎雅晴	
バスケットボール	加藤智哉	
サッカー	前野利夫	
柔道	及川誠	
剣道	新井進	
弓道	阿久津廣	
空手道	沢田裕	
陸上競技	岩瀬善彦	
水泳	佐藤明	
スキー	宮本一彦	
クレイ射撃	小原征男	
ライフル射撃	西川仁	
スケート	岩澤嗣夫	

種目	連絡責任者	電話
体操	大塚賢一	
小学校体育	筒井隆彦	
中学校体育	黒須淳一	
高等学校体育	岡部岳志	
レクリエーション	小山久子	
バドミントン	平岡和子	
少林寺拳法	坂上宣久	
ソフトボール	加藤正義	
テニス	松本政之	
ボウリング	渡辺貞夫	
なぎなた	栗原保代	
ラグビーフットボール	佐藤伸也	
ゲートボール	岩上隆生	
グラウンドゴルフ	本居政明	
ダンススポーツ	中野ひろ司	